



# 石積っ子

教育目標 **さいごまでやりぬく子 からだをきたえる子 もとめて学び子 ともを大切にする子**

坂本小だより 令和5年 4月号

児童数592名 (24クラス)

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

## 自立への近道『自分大好き・・・』～子どもたちの笑顔が輝く坂本小

～

### ご入学・ご進級おめでとうございます

今日、4月10日。新1年生122名の子どもたちを迎え、全校児童592名、教職員等50名で令和5年度の坂本小学校がスタートしました。子どもたちには新たなステージで自分の魅力を発揮して、しなやかにたくましく育てほしいと願っています。年度末に創立150周年を迎える今年も、合言葉は『自分大好き 友達大好き さかもと大好き』です。どうか地域に根ざした姿をめざす本校教育に今年度も変わらずご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



### 集団の力は個を伸ばす 個の力は集団を高める

家族、学級集団、学年集団、そして学校という組織、さらには坂本という地域(自治連)。子どもたちを取り巻く社会にはいろいろな集団があり、我々も含めて皆、そこに属して生活しています(いきます)。だからこそ、まだまだ成長途上で、身につけなければいけないことがたくさんある子どもたちにとって、個々の足りないところを補い合える集団は不可欠です。昨年度の卒業文集の中にも綴りましたが、古代ギリシャの哲学者アリストテレスは「全体は部分の総和に勝る。」という言葉を残しています。時計の歯車や部品一つ一つをただ寄せ集めただけでは時計として機能しませんが、それらをうまく組み立て一つ一つが欠かせない役割を果たすことで正確に時を刻むことができる時計となります。これと同じく、集団(全体)は一つ一つをただ加算した算術的総和以上のものであるということです。

このことはもちろん学校にもあてはまります。みんなで力を合わせて学習を積み、行事を充実させて成長していくためには、「誰かが何とかしてくれる」「出しゃばる必要はないな」と消極的に考えるのではなく、「自分にできることは何か」を探し、「できることは自ら積極的に協力する」という気持ち大切です。そういう気持ちをもった一人ひとりが集まる集団こそが理想的な集団(子どもたちにとって心地よい居場所)となり、また反対にその集団の組織力が個をさらに成長させるのだと思います。

新年度を迎え、本校も学年や教務のメンバーが決まり、新しい組織としてスタートし、職員にも「チーム坂本としての力を高めましょう」という話をしました。そしてこの1週間、先生方は迎える子どもたちを思い浮かべながら精力的に話し合い、準備を進めてくださいました。そんな姿を見て頼もしく思うとともに、今年度も子どもたちの笑顔が輝く姿をめざす坂本小教育が実践できると確信しました。

校長 上畠 憲一

### <令和5年度 職員紹介>

※氏名**太字下線**は新転任者です。どうぞよろしくお願いいたします。


### <4月、5月の主な学校行事(4/10現在)> 変更になることもあります。

--	--

--	--

〈令和5年度年間予定(4/10 現在)〉 変更になることもあります。毎月の通信等でご確認ください。

--	--	--

## 令和5年度学校経営構想（重点）

<h3>坂本小コミュニティの大目標</h3> <p>150周年を機に 学校・地域・家庭が連携して 自立した子どもを育成する ～自分大好き 友達大好き <u>さかもと大好き</u>～</p>	<h3>学校教育目標(目指す子ども像)</h3> <p>「心豊かに たくましく」 様々な変化を前向きに受け止めて自己実現できる子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自尊感情(自己肯定感)を高める！ 自分自身を信頼し自信を持つ(自立)！ さいごまで からだをきたえ もとめて学ぶ ともをたいせつに</p> </div>
--	---

重点事項			
<b>さいごまでやりぬく</b>  『5つの心得』の徹底 〈あいさつ・はきもの・そうじ・時間・人〉	<b>からだをきたえる</b>  ◇体育授業の充実 ◇日常の運動習慣 ◇健康教育、食育 ◇安全・防災教育	<b>もとめてまなぶ</b>  ◇坂小スタンダードの発展 ◇読書力を高める ◇書いて表現する力をつける ◇ICT活用力 ◇教科担任制	<b>とも(人)をたいせつにする</b>  ◇インクルーシブ教育の充実 ◇開かれた学校の実現 〈150周年を機に再び〉 ◇特色ある学校づくり 〈地域・保護者との協働実践〉 〈歴史・人・文化と触れ合う〉

方策（具体的教育活動）			
<b>さいごまでやりぬく</b>  『5つの心得』 を徹底してやりぬく ○あいさつ ○はきもの ○そうじ ○時間 ○人	<b>からだをきたえる</b>  ◇主体的な活動を大切に した授業を意識し、単元をま とまりとして捉える「滋賀 県型指導案」の活用 ◇大津体操の活用 ◇大津市スポーツランキン グへの挑戦 ◇食育（給食の習慣） ◇命を守る安全・防災教育	<b>もとめてまなぶ</b>  ◇学習の構えの徹底と学習 環境の充実 ◇単元を通してめあてとふ りかえりの運動した主体的 な学びのある授業 ◇学力分析に基づいた習熟 度別課題(学習)の提供 ◇読み優先の漢字学習によ る読書力の向上 ◇読書力を高める図書館教 育の充実(電子図書を活用) ◇教科担任制の拡大	<b>とも(人)をたいせつにする</b>  ◇自己有用感のある学級・学 年・学校、いじめを無くす人 権感覚の向上 ◇学年経営や日課の見直しを行 い、児童と向き合う時間を確保 して一人ひとりに寄り添い、 児童理解を深める。 ◇150周年を合言葉に、夢ブ ロジェクトを活用し地域や保 護者との交流を進め児童の活 動の連携を図る。 ◇特別支援学級への全職員の 参加

## お知らせとお願い（マスク等感染対策、日課変更について）

### 4月当初からのマスク等の取り扱いについて

新学期におけるマスク着用について、文部科学省では「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」としており、市教委からの通知もそれに準じた形になっています。しかし、感染不安や健康上の理由等からマスクを継続して着用する児童や教職員もいるため、本人の意思に反して着脱を強いることがないようにしたいと考えています。今後のマスク着脱について、ご家庭でお子様と話し合ってください。なお、気温上昇とともに熱中症が予想される場合にはマスクを外すよう指導します。また、換気や手洗い等の基本的な対策はそのまま継続し、給食時も席の間隔を明け、同一方向を向いての喫食を続けます。

### 日課の一部変更について

「ゆとりある日課に一部改善」と称して、昨年度の学校だより(3月号)にも掲載しておりましたが、令和4年度の教育アンケートや各方面からのふりかえりを基に令和5年度の日課を一部変更しました。朝読書、健康観察の時間帯を5分延ばして20分間とすることで、読書時間を確保するとともに1校時の学習時間をしっかり保障するというねらいです。また、火曜日の下校を30分早めることで、放課後に会議や打ち合わせ、教員の事務時間を確保し、授業中はもちろん、休み時間にも子ども一人ひとりに寄り添い児童理解を深められるようにとのねらいです。

下校時刻が変更になることで放課後の習い事等に影響するとは思いますが、ご理解いただけますようお願いいたします。